



2026年4月24日(金)日本全国で初の日帰り外来手術でのPPAP(percutaneous peritoneal dialysis access procedure; 経皮的腹膜透析カテーテル留置術)を連携医療機関の正木クリニックで行っていただきました。病診連携ではなく、診診連携によるPDカテーテル挿入術も本邦初かもしれません。

HDのシャント等のバスキュラーアクセスと違いPDアクセスは入院、そして全身麻酔・開腹手術がPD導入に対する患者様の不安やハードルとなっていました。PPAPであれば、全ての不安を取り除くことが可能です。引き続き、北九州の透析医療の発展に貢献すべく、診療・連携に努めていきたいと思っております。